

## 令和5年度 社会福祉法人よつ葉の会 事業報告

はじめに

令和5年度、社会福祉法人よつ葉の会は、4月1日北部地域療育センターよつばの開園からスタートいたしました。開園から1年、今枝先生（所長）をはじめとして多くのスタッフの皆様のご献身的な努力、保護者様をはじめ、関係者の皆様のご理解のもと、開園1年を迎えることができました。

実際、この1年間、運営する中での課題も多く、まだまだこれからも献身的に取り組まなくてはなりません。

また、障害児に対する医療・療育に対する要望や期待も多く、現在、実施している事業のみならず、皆様と一緒に、北部地域療育センターよつばの役割を量・質ともに拡大していくことが求められております。

また、社会福祉法人よつ葉の会といたしましては、高齢、障害、児童と幅広く社会福祉事業に取り組む中で、制度上の事業に留まることなく、地域の様々な課題に社会福祉法人として皆様と一緒に取り組んできました。その役割は、今後、更に増えていくと思っております。

また法人といたしましては、職員300名を超え、様々な事業を展開するなかで、今後は、更に人材確保・人材育成が不可欠な課題となっております。人材確

保については、福祉分野に留まらず、多くの産業分野においての課題となる中で、社会福祉法人よつ葉の会の役割を今後果たしていく上でも最重要課題だと認識しております。

また一方では、令和6年度報酬改定にみられる様に、今後、福祉予算が大幅に増える見込みがない中で、今まで以上に支援、介護、保育、療育等分野での人材確保と育成が大きな課題となります。次年度法人設立25周年を迎えるにあたり、今後10年、20年、更にその先を見据え、今後に向けての準備を進めていかなくてはならないと思っております。

## 1 北部地域療育センターよつばの運営

令和5年度、社会福祉法人よつ葉の会といたしましては、名古屋市より北部地域療育センターを1年間の引継ぎ療育を経て、令和5年4月1日より、北部地域療育センターよつばとして開園いたしました。令和5年度におきましては、引継ぎ1年目ということもあり、様々な課題もありましたが、今枝所長をはじめ、服部副所長およびスタッフ一同の献身的な努力のもと、ゆっくりと、確実に事業を引き継ぎ、利用者様、家族の皆様にとっても安心して、療育が以前と同様に提供できる様に務めてまいりました。北部地域療育センターよつばは、1年を終え、多くの課題や未熟な点を真摯に受け止め、今後、更に期待される役割に応えてい

ける様に法人一丸となり、努力してまいります。

## 2 社会福祉法人よつ葉の会25周年記念事業の準備

平成11年(1999年)11月1日社会福祉法人よつ葉の会が、法人として認可を受け、令和6年(2024年)に設立25年を迎えることとなり、令和5年度より、幹部職員が中心となり準備を進めてまいりました。

① 記念式典 (関係者 功労表彰 職員 勤続表彰 他 )

② 記念祝賀会 (コース料理・アトラクション)

記念式典、記念祝賀会につきましては、令和6年9月27日 名古屋東急ホテル(栄)にて開催

③ 記念絵本の出版 (鈴木美知子顧問原作によるよつ葉の会 理念)

④ 法人25周年 記念動画の制作

⑤ 法人25周年 よつ葉だより、特別号の発行

⑥ 法人25周年 よつ葉クッキー製造・販売

## 3 人材確保・人材育成

令和5年度においては、多くの人材(職員)を採用することが出来ましたが、年々職員採用には苦慮しております。年間を通して、就職フェア、学校訪問、見学説明会、採用試験など地道な採用活動を行う一方、SNS等にて、情報の発信に努めてまいりました。また、インターンシップや学生の実習など積極的に受け

入れ、きめ細やかな対応、実習指導を行い、福祉の仕事の魅力や法人の魅力を伝え、採用に結び付けてまいりました。

人材育成においては、法人研修計画に基づき、法人の基本理念の周知・習熟を行い、人権学習を通し、利用者様の支援、介護、保育、療育等の質の向上に努めてまいりました。また各事業所において、防火・防災、防犯、感染症、虐待防止、救命救急などの研修を継続的に行いました。

また、幹部職員を中心に、財政・労務・制度学習を行い、規律ある法人運営が適切に行われる様、学習を進めてまいりました。

#### 4 芸術・文化活動の推進

よつ葉庄内ハッピーダンスクラブ、もりやまっこ遊び隊、青年教室、フォーリーブスなど、利用者や園児の皆様と一緒に、年間を通して様々な文化活動を進めてきました。コロナ禍においては、対面や集団での活動することが困難でしたが、各活動ともコロナ前の状態に段階的に戻しながら活動を進めてまいりました。

また、夏のだ真ん中祭りでは、「バリバリ平針大賞」を受賞することができました。また、全国国内活性化フォーラム全国大会（愛知大会）のオープニングにて、愛知の魅力発信として、ダンスを披露させて頂きました。

#### 5 社会貢献事業の推進

こども食堂・みんなの食堂をよつ葉作業所・瀬古の家で毎月、実施してきました。こども食堂は開始から8年が過ぎ、この間多くの地域の皆様にご利用していただきました。また、年間を通して各種季節を体験できる企画を用意し、皆様に喜んでいただける運営を心掛けてまいりました。また、瀬古の家でのみんなの食堂では、名古屋市食コンテストにて、栄養価、食材等の調理の工夫が評価され、優秀賞を受賞し、名古屋市主催のテレビ（ナゴヤカルタ）にて、取組の様子を紹介していただくことができました。

強度行動障害者（児）研修事業においては、令和5年度2名の専門職員により、各事業所訪問や研修会講師等を行い、強度行動障害を持つ利用者様の障害特性の理解を多くの方に提供してまいりました。また、ケアセンターよつ葉開催のガイドヘルパー養成講座や強度行動障害支援者養成研修では、多くの方に学びの場を提供してまいりました。

また、令和6年1月1日に起きた能登半島地震においては、令和6年2月に、2名の職員を現地の障害者支援施設に派遣し、現地での応援をさせていただきました。

## 6 コロナ対策等・感染症予防の推進

令和5年5月より、新型コロナウイルス感染症（コロナ）は2類から5類に移行しましたが、相変わらず各事業所において、数名の利用者、職員の感染があり

ました。また、コロナに限らず、令和5年9月には、よつ葉の家を中心にインフルエンザに感染する利用者、職員が多数発生しました。法人全体として、感染対策、予防対策を継続的に実施したことにより、重症化や感染拡大することなく、早期に収束をすることができました。法人といたしましては、引き続き感染症についての学習を行うと同時に、常時、環境整備に努め、感染予防備品等の充実に努めてまいりました。

## 7 ガバナンスの強化・健全財政

令和5年度は、行政指導により、法人監査・よつ葉の家監査・新福寺町支援センター監査、よつ葉こども園監査、北部地域療育センターよつば監査・よつ葉ケアマネ事業所生活保護関連監査を受けることとなりましたが、全ての行政監査指導として、大きな指摘事項はありませんでした（一部 高潮についての防災規定の不備指摘）。

また、法人内監査といたしまして、BCP等を踏まえ法人の責任において各事業所の防災計画・及び避難訓練等の実施状況について内部監査を行い、各事業所任せでなく、法人として法令順守に努めてまいりました。

## 8 健全財政の確立

毎月、名南会計事務所による各事業所の会計指導、財務チェックを行い、透明性の高い、財政運営を行いました。また、令和6年度には、大規模な報酬改定が

予定されており、その中でも影響の大きい障害・高齢分野において、改定に向けた準備を行いました。